

人間社会学部 文化学科

【中学校一種（社会）・高等学校一種（公民）】

① 教員養成の目標

文化学科は、広く世界の文化を学び、異なる文化が生まれてくる背景を考えながら、多民族、多宗教、多言語の文化を掘り下げて理解することを目標にしている。学生は特定の言語圏を深く追求することも、横断的なテーマを設けて日本と他の文化圏との比較を行うことも可能である。本学科が提供する教員養成に関する科目にもこの特徴は反映されており、国際性豊かな人材を育成することを目指している。

【中学校一種（社会）】

文化というキーワードをもとに、世界の各地域の理解、日本の歴史・社会の理解を深め、かつそれらを多角的な視点から解説できる教員育成を目標とする。

【高等学校一種（公民）】

本学科で養った国際性を生かし、世界の各地域の空間的・時間的な理解を深め、かつ思想、倫理、宗教といった領域についても幅広い知識をもつ教員育成を目標にする。

② 当該目標を達成するための計画

上記の目標を達成するために用意されている授業科目として、哲学、歴史、芸術、文学、言語学習など多岐に亘る科目群が設けられている。まず他国について幅広い知識と基礎的な言語運用能力を身につけ、文献学習と異文化体験を統合できる思考力と想像力を身につけていく。さらに、自他の理解を深めるとともに、多文化が共存する社会の中で自ら考え行動する能力を養っていく。

【中学校一種（社会）】

本学科に設置されている文化史・思想史関連科目、そして世界各地の地域文化論、社会と文化に関する科目群を学生が履修することで、より広い視点から日本と世界の社会について理解を深められるようにする。

【高等学校一種（公民）】

本学科に設置されている倫理、思想、哲学、宗教の科目群を積極的に履修すると同時に、学生が世界各地の文化・社会に関する科目群も併せて履修することで、深い教養と理解を備えた人材となるよう育成する。